

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

型名	変速振動ドリル ACVV-130	お買い上げ日	保証期間
		年 月 日	お買い上げ日より 6か月
販売店	販売証明書やレシート等を添付してください。		

- 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 一般家庭用以外(業務用、レンタルなど)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ニ) 定格時間以上のご使用、または定格時間内であっても激しい連続作業でご使用になった場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書に販売証明書やレシート等、お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は付属品・消耗品には適用されません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
- 本書に記入のあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には当社までご相談ください。
- 保証期間経過後の修理や部品取り寄せについてはお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 当社は本製品の補修用部品を製造終了後から基本7年間保有しております。

お客様
相談窓口

☎ 03-3252-8861

受付時間: 9:00~12:00 13:00~17:00
(土日祝日及び弊社休日を除く)

修理及び別売品の購入はお買い上げの販売店にご依頼ください。左記相談窓口では直接対応できません。あらかじめご了承ください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

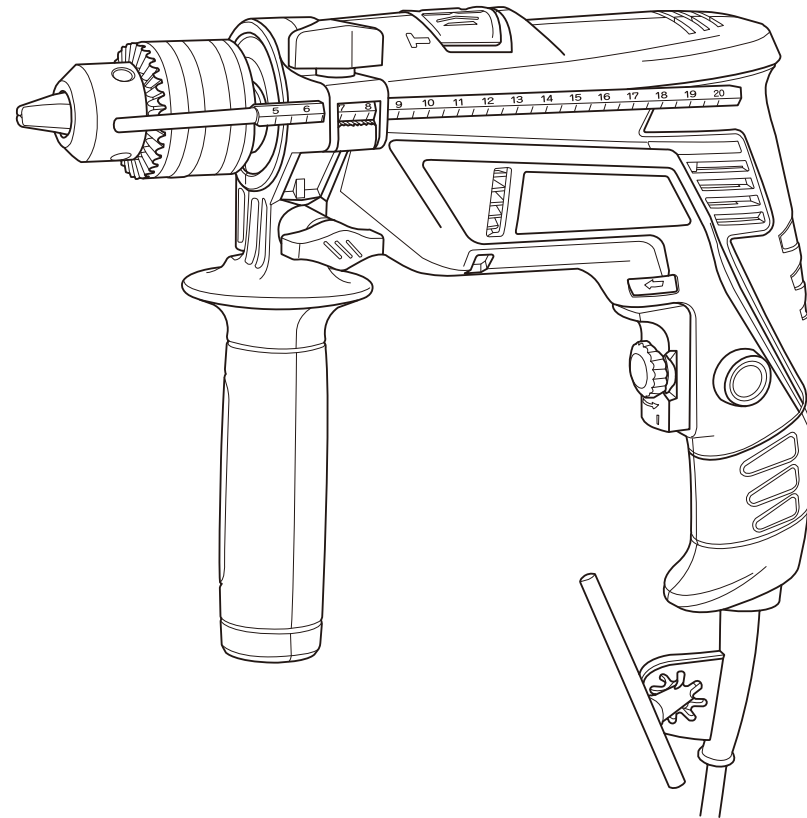
本社 〒101-0035
東京都千代田区神田紺屋町11番地
TEL: 03-3252-8861

修理工場 〒340-0002
埼玉県草加市青柳6-30-9
TEL: 048-931-4151

ホームページ <https://www.shinko-ss.co.jp>



変速振動ドリル ACVV-130 取扱説明書



二重絶縁

家庭用

本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

このたびは**変速振動ドリル**をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守って下さい。
 - ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

△ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

△ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。二重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の最初の作業のときは作業前に1分以上動作させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
 - ・ 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
 - ・ コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
 - ・ 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
 - ・ 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・ 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
 - ・ 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用ください。
 - ・ 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
 - 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
 - ・ 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
 - 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
 - ・ 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
 - 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。
- ☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

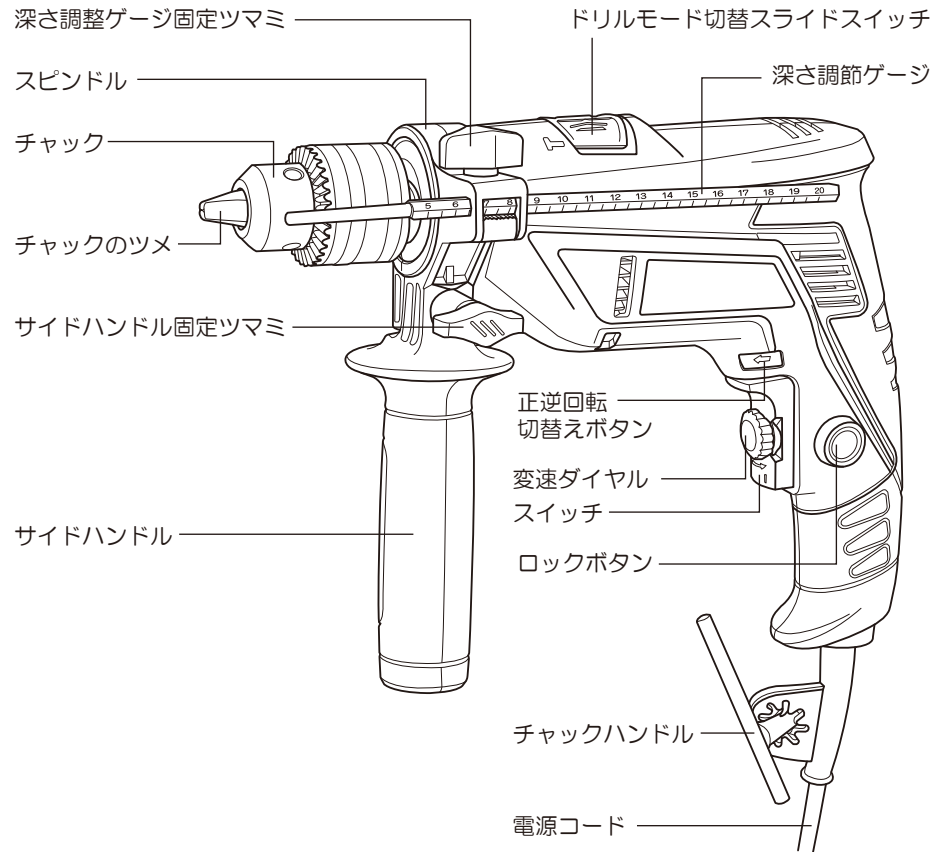
変速振動ドリルご使用上の注意

- 先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、変速振動ドリルとしてさらに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 使用電源は銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。表示を越える電源に接続しますとモーターの回転が異常に速くなり本機が破損する原因となります。
- ご使用前に本機の点検を行いネジの緩みが有れば締め付けてください。
- チャックの開閉は必ず付属のチャックハンドルで行なってください。固定が不十分だと使用中にドリルビットが抜ける事があります。
- 雨中や湿気の多いところで使用または放置しないでください。また濡れた手で差込みプラグに触れないでください。
- 使用時はサイドハンドルを取付け本機を確実に保持してください。保持が不十分だと思わぬ事故の原因となります。
- 石材・コンクリートに穴を開けるときは細かい粉じんが発生しますので保護メガネ、粉じん防止マスクを着用してください。
- 連続で振動を続けると非常に負荷が掛かります。モーター焼けの原因となりますので定格時間以上の使用は止めてください。
- 高い場所で作業するときは下に人がいない事を確認してください。
- 作業直後は摩擦でドリルビットやチャックが熱くなっています。火傷の恐れがあるのですぐに触らないでください。
- 使用中本機の異常に気づいた時は直ちに使用をやめてお買い上げの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

部品の名称



付属部品の明細

品名	数
サイドハンドル	1
深さ調整ゲージ	1
チャックハンドル	1

※本機にドリルビットは付属しておりませんので加工材に合わせたドリルビットを別途お求めください。

※SDSシャンク等のハンマドリル用のビットは使えません。丸軸もしくは六角軸のビットをご使用ください。

用途

- ドリルモード：回転のみ
木材、金属、プラスチック等への穴あけに
- 振動モード：回転+振動
コンクリート、石こう、レンガ等の石系素材への穴あけに

仕様明細

型 式 名	ACVV-130
電 源	AC100V
周 波 数	50/60Hz
電 流	5.3A
消 費 電 力	500W
無 負 荷 回 転 数	0~3,000min ⁻¹
無 負 荷 打 撃 数	0~44,000min ⁻¹
穴 あ け 能 力	木材 直径25mm (厚さ50mm以下) 鉄工 直径10mm (厚さ5mm以下) コンクリート 直径10mm (深さ30mm以下)
首 径	43mm
チャック能力	φ1.5~13mm
定 格 時 間	20分
質 量	1.85Kg
電 源 コ ー ド 長	2.0m

※本機は改良のため予告なしに仕様を変更することがあります。

延長コードについて

- 電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の能率でご使用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの関係（ご参考）

コードの太さ（導体公称断面積）	延長コードの長さ
1.25 mm ²	15 m
2.0 mm ²	20 m

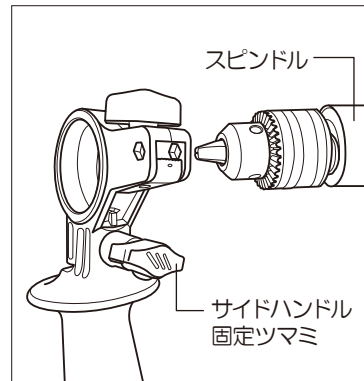
図ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

ご使用前の準備

■サイドハンドルの取り付け

- サイドハンドルの固定ツマミを緩めたら、本体のスピンドル位置に取り付けます。サイドハンドルを持ちやすい位置に動かしたら固定ツマミを締めて完全に固定してください。
- サイドハンドル固定ツマミを緩めてスピンドルに差し込んだら好みの角度でサイドハンドル固定ツマミを締付けて固定してください。
このときサイドハンドル固定ツマミを緩めすぎるとツマミと反対側の六角ナットが外れてしまうので緩めすぎないでください。

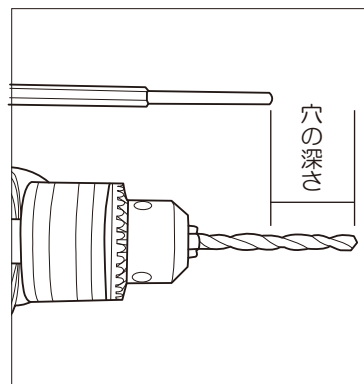
☑ サイドハンドル固定ツマミはしっかりと締付けてください。締付けが不十分だと作業中の振動でサイドハンドルの固定が緩んで思わぬケガの原因となります。



■深さ調整ゲージの調整

※同じ深さの穴を複数あけるときに便利です。

- 深さ調整ゲージ固定ツマミを緩めて深さ調整ゲージの位置を調整したら固定ツマミを締めて固定して下さい。
- 深さ調整ゲージの先端とドリル先端の長さの差が穴の深さの目安になります。

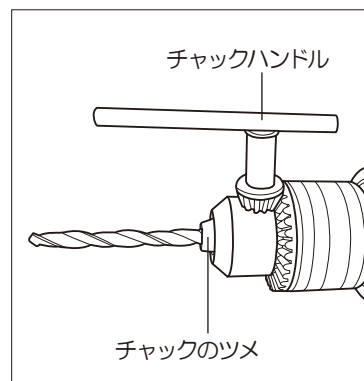


■ドリルビットの取り付け、取り外し

- チャックの穴3カ所のどれかにチャックハンドルを差し込み左に回すとチャックのツメが開きます。ドリルビットを差し込んだら今度はチャックハンドルを右に回してドリルビットをツメで締めて固定してください。
- 締めるときは残りの2カ所でも締め付けて3カ所で締めることで、より強く固定されてビットのブレも少なくなります。


※本機にドリルビットは付属しておりませんので加工材に合わせたドリルビットを別途お求めください。

※SDSシャフト等のハンマドリル用のビットは使えません。丸軸もしくは六角軸のビットをご使用ください。




操作方法

■ドリルモード

- ドリルモード切替スライドスイッチを  側にするとドリルモードとなり回転のみの動作となります。木材、金属、プラスチック等の穴あけはこちらをご使用ください。

■振動モード

- ドリルモード切替スライドスイッチを  側にすると振動モードとなり穴あけ中に押し込むと細かな振動が加わった動作となります。コンクリート、石材、レンガなど石材系の穴あけ時はこちらをご使用ください。
- 振動は非常に細かいので肉眼では見えませんが、振動中は通常の動作音に加えて高音が加わりますのでそれを目安にしてください。

☑ 薄いタイルや磁器・陶器などの壊れやすいものは振動で割れる可能性があります。これらの穴あけでは振動モードは使わないでください。

■正逆回転切替えボタン

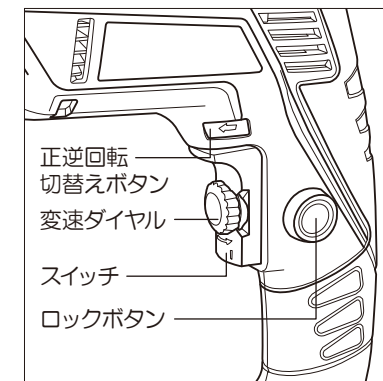
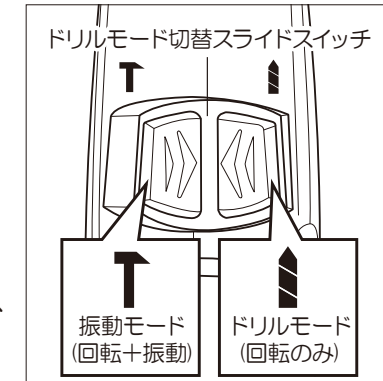
- 正逆回転切替えボタンで正転・逆転の切り替えができます。
- ☑ 正逆回転の切り替えは本機が完全に停止した状態で行なってください。

■変速ダイヤルについて

- スイッチに付いている変速ダイヤルで回転速度を調整できます。[-]側に回すと回転が遅くなり[+]側に回すと回転が速くなります。
- 穴を開ける素材や堅さにより回転速度を変えてください。

■ロックボタンについて

- スイッチを引いた状態でロックボタンを押し込むとスイッチが固定されて常に回転状態になります。解除するときはスイッチを強めに引くと解除されます。

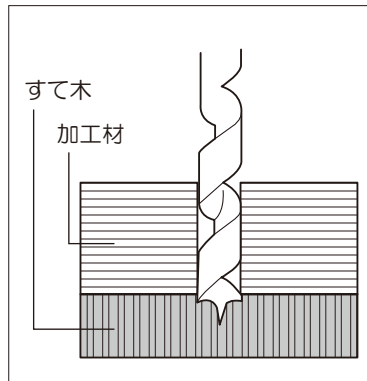
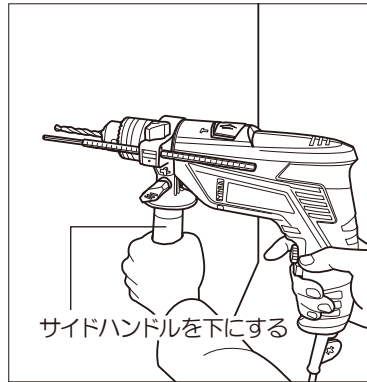
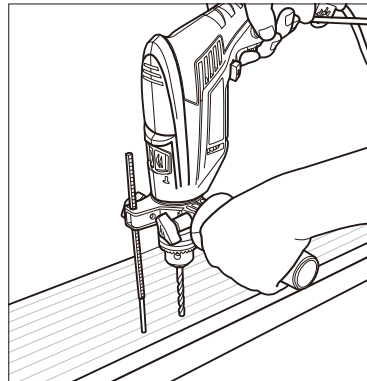


ご使用方法

- 作業の際は木材、金属、石材それぞれ材料に合ったドリルビットを用いてください。
 - 材料に対して本機を垂直に保持したらドリルの先端を穴あけ位置にあて、スイッチを軽く引きながら低速で穴あけ位置にドリルを食い込ませます。ドリルが材料を捉えたら徐々にスイッチを引いて通常回転にして穴をあけてください。
 - 壁へ横穴をあける時はサイドハンドルを下にして縦に持つようにすると本体の重さを受け止めてドリルが下にぶれにくくなります。
 - 材料に貫通する穴をあけるときは不要な木材等をすて木として下に敷いて、材料と一緒に穴をあけると裏側もきれいに仕上がります。
 - 金属に穴を開けるときは硬い上に表面が滑るのでそのままではドリルが食い込みにくい場合があります。その場合は事前にセンターポンチ等で穴あけ位置にくぼみをつけてから作業を行なってください。
 - 材料が硬く回転が止まってしまう時は先に細いドリルで下穴をあけておくとドリルが入りやすくなります。
 - 金属やコンクリートなどの堅い材質に深い穴をあけるときは摩擦熱防止のためドリルの先端にあらかじめ液体を塗っておくとより滑らかに穴あけ作業ができます。金属には切削油、石材やコンクリートには水が適しています。
- ☞液体を塗布するときは本機の中に入らないようにしてください。

■ドリルスタンドで固定する場合

- 本機は市販の電気ドリル用ドリルスタンドに固定して使う事が可能です。首径(スピンドルカラー)43mm対応のドリルスタンドに対応しています。



保守、点検について

- 作業直後は摩擦熱でドリルビットやチャックが非常に熱くなりますので火傷しないようご注意ください。
- 作業後、汚れ等は乾いた布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は石けん水や家庭用洗剤を付けた布で汚れをふきとってください。
- 湿気の少ない、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 直射日光や雨水のかかるところでは保管しないでください。劣化や錆びの原因となります。
- 本機についての修理、お問い合わせはお買い求めの販売店または当社にご連絡ください。

よくあるご質問

動かなくなったのですが

- 電源プラグが抜けていないか確認してください。
- 電源プラグを直接コンセントに接続して動いた場合は延長コードが原因です。延長コードが長すぎたり、ドラム式でコードを巻いた状態ですと電圧不足で動かない場合があります。
- 本機を押しつけ過ぎたり定格時間を越えたご使用では過負荷による温度上昇によりモーターが止まることがあります。再度使用する場合は完全に本機の温度を冷ましてからご使用ください。特に夏場は外気温が高いので使用時間が短くなる傾向があります。
- 上記のいずれにも当てはまらない場合は故障の可能性があります。お買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

穴あけに時間が掛かるのですが

- ドリルビットが材質に合っていない可能性があります。材質に合わないドリルビットですと時間が掛かるばかりでなく仕上げも綺麗に出来ません。必ず材質に合ったドリルビットをご使用ください。

振動モードなのに振動していません

- 本機の振動は負荷が掛からないと発動しません。材料に対して少し押しつけるようにすると振動いたします。
- 本機の振動は目視では分からないほどの微振動のため、振動しているのが分かりづらいです。振動中は通常の動作音に加えて高音が加わりますのでそれを目安にしてください。

本体内部から火花が見えるのですが

- モーターの特性として火花が見えることがありますが、使用には問題ありません。

動作中に焦げ臭い匂いがした、煙が出たのですが

- モーターが焼き付いている可能性があります。ただちにスイッチを切り本体を冷ましてください。